

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子
製品名

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

他の識別手段

5149 (1L); 5155 (5L)

化学品の推奨用途と使用上の制限
推奨用途
使用上の制限

車両燃料ユニット (ディーゼルエンジン) 用システムクリーナー
知られていない。

安全性データシート供給者の詳細
供給者の詳細
納入業者の住所

LIQUI MOLY GmbH
Jerg-Wieland-Str. 4
89081 Ulm-Lehr
ドイツ
(+49) 0731-1420-0
(+49) 0731-1420-88
info@liqui-moly.de

電話
F a x
E メール(担当者)

緊急電話番号
緊急連絡用電話の番号

+49 (0) 6132 / 84463 24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

ライトブラウン, 透明な 液体. . 独特な臭い. 可燃性液体. 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ. 繰返して被爆すると, 皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある. 水生生物に有害. 発がんのおそれの疑い. 使用前に取扱説明書を入手すること. 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること. 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと. 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと. その後も洗浄を続けること. ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること. 無理に吐かせないこと. 内容物を国, 都道府県, 市町村の法規に従って廃棄する。

物質または混合物の分類
以下に準拠: JIS Z 7252: 2019
物理的な危険性
健康に対する有害性

Flam. Liq. 4; H227
Asp. Tox. 1; H304
Carc. 2; H351
Aquatic Acute. 3; H402
Aquatic Chronic. 3; H412

環境に対する危険

表示要素
危険性を表す絵表示



注意喚起語

危険

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

危険有害性情報

H227: 可燃性液体。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H351: 発がんのおそれの疑い。
H402: 水生生物に有害。
H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き
安全対策

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面 を着用すること。
P273: 環境への放出を避けること。

応答

P301+P310: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
P331: 無理に吐かせないこと。
P308+P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管

P403: 換気の良い場所で保管すること。
P405: 施錠して保管すること。

廃棄

P501: 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

他の危険有害性

繰返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。
混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	化審法 官報公 示番号 ¹⁾	危険有害性分類
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	< 100	-	918-481-9	-	Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304
2-エチルヘキシル=ニトラート	5 - 10	27247-96-7	248-363-6	2-3598	Flam. Liq. 4; H227 Eye Irrit. 2B; H320
Hydrocarbons, C10, aromatics, > 1% naphthalene	< 1.5	-	919-284-0	-	Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304 STOT SE 3; H336 Carc. 2; H351 Aquatic Chronic. 2; H411
1,2,4-トリメチルベンゼン	<0.15	95-63-6	202-436-9	3-7, 3-3427	Flam. Liq. 3; H226 Asp. Tox. 1; H304 STOT SE 3; H335 STOT SE 3; H336 STOT RE 2; H373 Aquatic Acute. 1; H400 Aquatic Chronic. 1; H410
ナフタレン	<0.15	91-20-3	202-049-5	4-311	Flam. Sol. 2; H228 Acute Tox. 4; H302 Skin Sens. 1; H317 Eye Irrit. 2B; H320 Carc. 2; H351 STOT SE 1; H370

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

発刊日.: 31/07/2020

バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

					STOT RE 1; H372 Aquatic Acute. 1; H400 Aquatic Chronic. 1; H410
--	--	--	--	--	---

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 1.6 を参照する。〔化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号) 当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありませぬ

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で優しく洗う。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。口を水で洗い流し、少量の水を飲ませる。

最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。繰り返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。発がんのおそれの疑い。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

症状によって処置する。

医師への注意:

飲みこんだ場合: 肺への吸引の危険性があるので、嘔吐を誘導してはいけません。吸引の疑いがある場合は、直ちに治療を受けてください。自然に嘔吐する場合は、頭部を腰の高さよりも低く保ち、肺に吸引しないようにしてください。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。耐アルコ<許 A 消火剤 (ATC 型) を推奨します。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

可燃性液体。火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。燃焼生成物: 炭素酸化物。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

適当な距離から注意して消火すること。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フェームを吸入してはならない。消火活動による流出物を下水溝や河川を流入させないでください。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。流出物をとり除く間、適切な保護具を着用す

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

環境的予防措置

封じ込めと清掃のための方法および資材

る。着火源をとり除く。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。全ての接触を避けること。蒸気じんを吸入しないこと。妊娠中は暴露を避けること。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。環境への放出を避けること。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

そうするのが安全であれば、漏出元を隔離する。引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。機器が適切に接地されていることを確認してください。適切な換気を確保する。物質が蒸発できるようにします。残存液体を砂または不活性吸収材で吸い取り、安全な場所に取り除くこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 適切な保護衣、手袋および目/顔面保護具を着用する。全ての接触を避けること。適切な換気を確保する。換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後には手を洗うこと。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器を密閉しておくこと。熱源および着火源から離れた、換気の良い(乾燥した)冷所/低温の場所に貯蔵すること。

保管温度

涼しく換気のよい場所に保管してください。

混触危険物質

～から離すこと: 強酸化物類。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

物質	CAS 番号	OEL		参照:
		ppm	mg/m ³	
プロパン-2-オール	75-07-0	400	980	JSOH
2-ブトキシエタノール	111-76-2	20	97	JSOH
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	25	120	JSOH
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	25	120	JSOH
2-エチルヘキサノール	104-76-7	1	5.3	JSOH

ソース: OEL - Recommendation of Occupational Exposure Limits (2018 - 2019), J Occup Health 2018; 60: 419-452

職業暴露限界の勧告 (2018年~2019年)、J Occup Health 2018年; 60: 419-452

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。適切な衛生管理方法および雑務実施方法。眼と皮膚を洗浄するための洗浄施設/洗浄水があること。

個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。適切な保護衣、手袋および目/顔面保護具を着用する。全ての接触を避けること。蒸気じんを吸入しないこと。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣類を脱ぐこと。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



適切な目の保護具を使用する。(推奨: EN166). 洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性の手袋を着用します。(推奨: EN374). 浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に変換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。適切な材料: ニトリル。

身体の保護具 皮膚に触れないように適切なカバ<I<扱・・pしてください。

呼吸器の保護



換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。推奨: ろ過式呼吸用保護具が適切な場所では、EN143 タイプ P-S または EN149 タイプ FFP-S を使用してください。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

予想されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観

ライトブラウン, 透明な 液体。

におい

特性。

臭いの閾値

確立されていない。

pH 値

確立されていない。

融点/凝固点 (° C)

確立されていない。

初留点と沸騰範囲 (° C)

180° C

引火点(°C)

63° C

蒸発速度

確立されていない。

燃焼性 (固体、ガス)

該当なし。 .

上限/下限可燃性または爆発限界

LEL: 0.7% (Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics)

UEL: 6% (Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics)

蒸気圧(mm Hg)

確立されていない。

蒸気密度(空気=1)

蒸気は空気より重い

相対密度

確立されていない。

溶解度

水に不溶。

分配係数 (n-オクタノール/水)

確立されていない。

自己発火温度(°C)

確立されていない。

分解温度(°C)

確立されていない。

粘度(mPa. s)

動粘度: < 7mm²/s (40° C)

追加性質

爆発性

非爆発性。

酸化性

非酸化性。

密度

0,816 g/ml (15° C)

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性	普通の状態が安定。
化学的安定性	普通の状態が安定。
危険な反応の可能性	可燃性液体。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。
避けるべき条件	昇温。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。直射日光を避ける。
混触危険物質	～から離すこと: 強酸化物類。
危険有害性分解生成物	燃焼生成物: 炭素酸化物。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報	
急性毒性 - 口	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 経皮	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2,000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 吸入	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: LC50 > 20mg/l (蒸気。)
皮膚腐食性/刺激性	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 2-エチルヘキシル=ニトラート 混合物。: Eye Irrit. 2B; H320: 眼刺激性。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	目に軽い刺激作用がある。(OECD TG 405, GLP) (IUCILD (2000)) 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性データ	混合物。: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 遺伝毒性の証拠はない。
発がん性	混合物。: Carc. 2; H351: 発がんのおそれの疑い。 Hydrocarbons, C10, aromatics, > 1% naphthalene Carc. 2; H351: 発がんのおそれの疑い。
生殖毒性	EU ECHA 登録書類 混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 生殖毒性があるという証拠はありません。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	混合物。: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
吸引性呼吸器有害性	混合物。: Asp. Tox. 1; H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 混合物。: 動粘度: < 7mm ² /s (40° C)
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	Asp. Tox. 1; H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 動粘度: 1.8 mm ² /s (@20° C) (ASTM D 7042)
その他の情報	知られていない。

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 12: 生態学的情報

毒性	混合物.: Aquatic Acute. 3; H402: 水生生物に有害。 Aquatic Chronic. 3; H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。 推定 LC50 (96 時間) 魚類 > 10 に 100 mg/l
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	Aquatic Chronic. 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。 NOELR: 0.487 mg/l (魚類) (28 日) (CONCAWE, 2010)
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	Aquatic Acute. 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。 Aquatic Chronic. 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 NITE GHS 分類
ナフタレン	Aquatic Acute. 1; H400: 水生生物に非常に強い毒性。 Aquatic Chronic. 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。 NITE GHS 分類
残留性および分解性	混合物全体としてのデータはありません。
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	容易に生分解される。 89.8% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 F)
2-エチルヘキシルニトラー	容易には生分解されない。 0% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 310)
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	本質的生分解性 57.95% 分解 以下に準拠する: 水 (28 日) (OECD 301 F)
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	容易には生分解されない。
ナフタレン	容易には生分解されない。
生物蓄積性	混合物全体としてのデータはありません。
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	この物質は生物濃縮の可能性が低い。 BCF: 144.3 L/kg ((Q) SAR) (名前のない出版物, 2010)
2-エチルヘキシルニトラー	生物濃縮します。 BCF: 1 332 L/kg (OECD 305)
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	この物質は生物濃縮の可能性が低い。
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	低い生体蓄積性
ナフタレン	低い生体蓄積性
土壌中の移動度	混合物全体としてのデータはありません。
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 LogKoc: 4.16 ((Q) SAR) (名前のない出版物, 2010)
2-エチルヘキシルニトラー	この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 LogKoc: 3.75 (@22° C)
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	物質は複雑な UVCB である。 このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 LogKoc: 3.04
ナフタレン	この物質は土壌中での移動性が高いと予想される。
オゾン層に対する有害な影響	
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
2-エチルヘキシルニトラー	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
Hydrocarbons, C10, aromatics, >1% naphthalene	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
ナフタレン	この物質にオゾン層破壊の可能性はない。
その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	内容を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
追加情報	排水路、下水道または水路に入らないようにする。 環境への放出を避けること。 空の容器と廃棄物は安全に廃棄すること。

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告 (the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods') によれば、分類されていない。

	ADR/RID	国際海上危険物	ICAO/IATA
国連番号	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
UN 適切な船積み名	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
海洋汚染物質	分類されていない。	海洋汚染物質として分類 されていない。	分類されていない。
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。		

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

労働安全衛生法 (ISHA)

通知対象物	1, 2, 4-トリメチルベンゼン: ≥ 1% ナフタレン: ≥ 1%
表示対象物	1, 2, 4-トリメチルベンゼン: ≥ 1% ナフタレン: ≥ 0.1%
有機溶剤。	該当なし。
作業環境負荷基準の管理濃度	該当なし。
毒物及び劇物取締法	該当なし。
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	該当なし。
優先評価化学物質	1, 2, 4-トリメチルベンゼン ナフタレン
既存化学物質	1, 2, 4-トリメチルベンゼン ナフタレン
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	1, 2, 4-トリメチルベンゼン: クラス I 指定化学物質 ナフタレン: クラス I 指定化学物質
J-MOSS (日本のリサイクル法および JIS C 0950)	該当なし。
消防法	第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0

参考文献:

既存の安全データシート (SDS). NITE 化学物質総合情報提供システム. 以下に対する既存の ECHA 登録: Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics (EC 番号 918-481-9); Hydrocarbons, C10, aromatics, > 1% naphthalene (EC 番号 919-284-0); 2-エチルヘキシル=ニトラー (CAS 番号 27247-96-7); 1, 2, 4-トリメチルベンゼン (CAS 番号 95-63-6); ナフタレン (CAS 番号 91-20-3).

1. CONCAWE. 2010. Aquatic Toxicity Predictions Obtained Using the Petrotox Model for Hydrocarbons. CONCAWE, Brussels, Belgium.

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019	分類手順
Flam. Liq. 4; H227	引火点(°C)

Pro-Line Jet Clean Diesel-System-Reiniger

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

Asp. Tox. 1; H304	閾値計算 / 動粘度
Eye Irrit. 2; H319	閾値計算
Carc. 2; H351	閾値計算
Aquatic Chronic. 3; H412	積算

注釈

ADR/RID	ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制
BCF	生物濃縮率 (BCF)
CAS	CAS: 化学情報検索サービス
EC	EC: 欧州共同体
EU	欧州連合
IATA	IATA: 国際航空運送協会
ICAO/IATA	ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会
国際海上危険物	IMDG: 国際海上危険物
LTEL	長期暴露限界
無影響濃度	無影響濃度
OECD	経済協力開発機構
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
STEL	短時間暴露限界
UN	国連
vPvB	vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

危険有害性分類 / 分類コード:

Flam. Liq. 4; 引火性液体, 区分 4
Flam. Solid 1; 可燃性固体, 区分 1
Acute Tox. 4; 急性毒性, 区分 4
Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, 区分 1
Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, 区分 1
Eye Irrit. 2; 目。刺激性, 区分 2
Eye Irrit. 2B; 目。刺激性, 区分 2B
STOT SE 3; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 3
Carc. 2; 発がん性, 区分 2
STOT SE 1; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), 区分 1
STOT RE 1; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 1
STOT RE 2; 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), 区分 2
Aquatic Acute 1; 水生環境有害性, 急性, 区分 1
Aquatic Chronic 1; 水生環境有害性, 慢性, 区分 1
Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, 区分 2

危険有害性情報

H227: 可燃性液体。
H228: 可燃性固体。
H302: 飲み込むと有害。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319: 強い眼刺激。
H320: 眼刺激。
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
H336: 眠気又はめまいのおそれ。
H351: 発がんのおそれの疑い。
H370: 臓器の障害。
H372: 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H373: 長期にわたる, または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
H400: 水生生物に非常に強い毒性。
H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものとしたします。LIQUI MOLY GmbHは、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件 (法定またはその他) は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbHは、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません (欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます)。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。